

2009年4月1日～2019年3月31日に膀胱水圧拡張術を受けた方へ
研究実施のお知らせ

杏林大学泌尿器科では下記の臨床研究を行っております。
本研究の対象者に該当する方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

研究課題名：人工知能 AI による間質性膀胱炎の診断

研究の対象：2009年4月1日～2019年3月31日に膀胱水圧拡張術を受けた
間質性膀胱炎の患者さん

研究期間：承認後～2024年3月31日

研究の目的：間質性膀胱炎の病型診断の標準化、ハンナ型間質性膀胱炎を自動検出する方法
の確立を目指します。

研究方法：2009年4月1日～2019年3月31日に実施された膀胱水圧拡張術の術中内視鏡
画像を収集し、人工知能を用いたディープラーニング（深層学習）法で診断方法
を確立します。

研究機関：杏林大学医学部泌尿器科
東京大学医学部泌尿器科
産業技術総合研究所人工知能研究センター（研究責任者：野里博和）

外部への情報提供について：

杏林大学泌尿器科および東京大学泌尿器科で録画された内視鏡画像は匿名化された状態で、杏林大学泌尿器科に集められ、病変部位の特定を行います。その後、匿名化された状態で産業技術総合研究所人工知能研究センターへ送られ、人工知能による学習を行います。匿名化されていますので、あなたのお名前や個人情報が漏れることはありません。

研究に関するお問い合わせ：

杏林大学医学部泌尿器科 教授 福原 浩
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
TEL：0422-47-5511

杏林大学医学部附属病院を受診されている多発性嚢胞腎患者さんへ
-臨床研究協力へのお願い-

このたび多発性嚢胞腎患者さんの血液尿検査データや画像検査のデータを用いて、多発性嚢胞腎の病態を明らかにする臨床研究を開始します。使用する検査データは、すでに一般の診療の中で得られた検査データで、新たにこの研究のために検査が行われるものではありません。またこの研究の公表で個人が特定されることはなく、健康被害等の不利益を被ることもありません。この研究への参加に同意できない多発性嚢胞腎患者さんは担当の医師に申し出てください。この場合にはその方の血液尿検査データ、画像検査データは使用いたしません。

なおこの件に関する問い合わせ先は下記の本研究事務局になります。

杏林大学医学部泌尿器科 福原 浩 (ふくはら ひろし)
〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2
TEL: 0422-47-5511 (内線 3648)
FAX:0422-42-8431

杏林大学医学部泌尿器科	主任教授 福原 浩
多発性嚢胞腎講座	特任教授 東原英二
杏林大学医学部附属病院	病院長 市村正一